

第 II 部
各ブロック会議

【東北・北海道ブロック】

平成28年度東北・北海道精神保健福祉センター所長会 総会

日 時 平成28年6月16日（木） 午後2時～午後5時
場 所 山形ホテルキャッスル（山形県山形市内）
参 加 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県*、福島県、札幌市、仙台市 各道県市センター長（*当該年度事務局を担当）

総 会 次 第

1 開 会

2 あいさつ 東北・北海道精神保健福祉センター所長会会長 有海 清彦
山形県健康福祉部長 中山 順子

3 参加者自己紹介

4 協 議

- (1) 平成27年度事業報告及び収支決算報告（案）について
- (2) 会計監査報告
- (3) 平成28年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- (4) 役員体制及び役員の改選について
- (5) 今後の開催担当道県市について
- (6) 意見交換・その他

意見交換の要旨

- (1)精神医療審査会に関して、「審問」例、退院請求の意見聴取の際の「意見陳述の機会等の告知」の方法、退院請求に係る家族からの意見聴取対象者、退院請求頻回者の取扱い、医療保護入院者の入院届に添付される同意書の審査点について協議した。
- (2)薬物・アルコール等関連事業に関して、「薬物依存のある刑務所出所者等の支援に関する地域連携ガイドライン」ふまえた連携の状況について、各センターにおける薬物関連相談事業の取り組み状況について、薬物依存家族支援として取り組んでいる事業について、ギャンブル依存家族支援(家族ミーティング等)への取り組み及び関係機関との連携状況、“アルコール健康障害対策推進計画”策定の取り組み状況等について協議した。
- (3)自殺（自死）対策に関して、市町村における計画づくりに対する支援について、「地域自殺対策推進センター」の取り組み状況及び自殺予防関連の物品の実際について協議した。
- (4)ひきこもり支援に関して、「ひきこもり地域支援センター」の開設状況について、青年期（ひきこもり）家族会の運営（自助グループ）や課題について協議した。
- (5)地域移行、相談支援、その他に関して、精神障がい者であることの確認依頼の対応や手続き・様式について、摂食障害当事者・家族への支援と地域関係機関との連携について、精神障がい者地域移行、地域定着推進事業のピアサポーターの支援内容や体制整備について協議した。

5 閉 会

【関東甲信越ブロック】

平成28年度関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会 報告

担当：茨城県精神保健福祉センター

日時：平成28年12月2日（金）10時～16時

場所：ホテルレイクビュー水戸（茨城県水戸市内）

参加者：他都県市センター職員 49名、当センター職員12名 合計61名

第1分科会 「依存症」 30名 第2分科会 「自殺予防対策」 27名
第3分科会 「DPAT・災害時のこころのケア」 35名 第4分科会 「精神医療審査会」 25名

概要：

開会 挨拶 関東甲信越ブロック精神保健センター連絡協議会会長 佐藤 茂仁

講演 「茨城県における災害精神支援活動の成果と課題：関東・東北豪雨、熊本地震での活動を通して」
講師 筑波大学保健管理センター所長 筑波大学医学医療系 准教授 太刀川弘和 氏

分科会

第1分科会 「依存症」

第2分科会 「自殺予防対策」

第3分科会 「DPAT・災害時のこころのケア」

第4分科会 「精神医療審査会」

内容：

【講演】「茨城県における災害時精神支援活動の成果と課題—関東東北豪雨・熊本地震での活動を通して—」と題し筑波大学の准教授の太刀川先生に講演いただいた。ユーモアを交えながらの講演は参加者の満足度も高く、アンケートでも「あっという間に時間が過ぎた」「現場の状況がよくわかった」「今後のセンターの役割・体制づくり・取り組みの参考になった」などの意見があった。

【第1分科会】新たな法制度（アルコール対策基本法、一部執行猶予制度など）への対応を含め、より有効な依存症対策について意見交換。センターでの薬物依存治療回復プログラムの実施状況や取り組みの情報交換を行った。アンケートでは23名回答のうち12名が「役立てられる」と答え、「大いに役立てられる」5名、「少し役立てられる」5名だった。各自治体の取り組みが分かり参考になったとの意見だった。

【第2分科会】自殺対策推進センターの整備状況や各自治体の自殺対策計画の策定と策定の支援方針、自死遺族支援等々の取り組み状況について意見交換。アンケートでは、「役立てられる」が23名中8名、「少し」が7名、「大いに」は4名で、計画で重視していることなども共有してもよかった等意見が寄せられた。

【第3分科会】一昨年の関東東北豪雨や昨年の熊本地震等災害が頻発する中、DPAT体制整備やセンターの役割について、災害時のこころのケアについて意見交換した。アンケートでは分科会前の筑波大学の太刀川准教授の講演があったことも含め常総市は県の話が参考になった。他自治体の状況がわかったことから自分の自治体の課題が考えられた等の意見があり、役立てられるが16名中13名で、他の5名は「大いに」と答えた。

【第4分科会】26年4月の法改正から2年が経過し医療保護入院に係る諸手続きが見直され、精神医療審査会ではいくつかの疑義も生じたことから各自治体の運用について、保護者制度の廃止による家族の続柄の確認や市長同意の場合の市職員に求めること、定期病状報告書の内容についての判断等意見交換した。

【分科会全体】「時間が短かった」「もっと意見交換したい」「各センターから報告する時間を取った方がよい」との意見有り。またスタッフの労をねぎらう意見をいただいた。

【中部・近畿ブロック】

平成 28 年度中部・近畿ブロックセンター長会議

開催日時：平成 29 年 2 月 10 日 13 時 30 分～17 時

開催場所：奈良県文化会館 2 階 集会室 A・B

事務局：奈良県精神保健福祉センター

出席：富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡市、浜松市、愛知県、名古屋市、三重県、滋賀県、京都府、京都市、大阪府、大阪市、堺市、兵庫県、神戸市、和歌山県
(計 29 名)

挨拶 (13:30～)

1. 講演1. 基調講演

「奈良県における自殺予防対策について」

講師：学校法人帝塚山学園 帝塚山大学こころのケアセンター長 神澤 創 氏

2. 各センターの現状と課題

3. 協議・照会事項の検討

【協議事項】

- 1) 障害者手帳の等級に対する不服申し立てへの対応について 名古屋市

【照会事項】

- 1) 医療観察法に関する各センターの関与の状況について 石川県
2) 相模原市の障害者支援施設での事件を受けての今後の対応策について 静岡市
3) 都道府県の区域を越える住所変更があった場合の精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療（精神通院医療）の承認期間について 三重県
4) 都道府県自殺対策計画・市町村自殺対策計画の策定及び地域自殺対策推進センターの設置についての精神保健福祉センターの動向について 滋賀県
5) 「こころの健康相談統一ダイヤル」等、自殺対策の電話相談の実施体制および対応範囲について 奈良県
6) 自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定に係る所得区分の確認について 奈良県

4. その他

閉会

【中部ブロック】

平成 28 年度中部ブロック精神保健福祉センター長会及び連絡協議会

平成 28 年 7 月 29 日（金） 13 時 00 分～16 時 30 分
愛知県産業労働センター（ウインクあいち）12 階

時 間	センター長会	連絡協議会
12：30～13：00	受付 12 階 1204 会議室	
13：00～14：45	①講 演 テーマ「災害支援従事者のこころの健康 ～産業医として思うこと～」 講 師 観月診療所 平山 太日子 ②質疑応答・意見交換	
15：00～16：30	協議事項検討、情報交換 1204 会議室	照会事項検討、情報交換 1205 会議室
16：30	閉会	

照会事項

- 1 医療審査会の法律委員からの意見について（富山県）
- 2 退院請求等の審査会の結果通知内容について（石川県）
- 3 精神保健福祉手帳と自立支援医療証受給者証の発行事務について（愛知県）
- 4 「こころの電話相談」の経費について（静岡県）
- 5 電話相談員の研修について（愛知県）
- 6 「若年層対策事業」または「災害時自殺対策事業」について（静岡県）
- 7 大規模地震を想定した業務継続計画について（愛知県）
- 8 依存症分野における本人・家族向け支援の実施状況について（静岡市）
- 9 薬物事犯またはアルコール等依存症問題を抱える受刑者の服役中の支援と、それに伴う矯正保護関係機関との相互理解の方法について（石川県）
- 10 依存症家族交流会で使用しているテキストについて（石川県）
- 11 ひきこもり当事者のグループ活動について（石川県）

【近畿ブロック】

平成 28 年度近畿ブロック精神保健福祉センター長会

開催日時：平成 28 年 10 月 7 日（金） 13 時 30 分～17 時

会 場：兵庫県こころのケアセンター 206 会議室

参加者：滋賀県・京都府・京都市・大阪府・大阪市・堺市・神戸市・奈良県・和歌山県・
兵庫県（計：22 名）

1 開 会

2 あいさつ

兵庫県精神保健福祉センター 所長 酒井 ルミ 氏

3 特別講演

「こども期のトラウマの理解とケア」

兵庫県こころのケアセンター 副センター長 亀岡 智美 氏

4 議 事

(1) 協議事項検討

DPAT の設置状況について

(2) 照会事項検討

- ① 都道府県アルコール健康障害対策推進計画への精神保健福祉センターの関わりについて
- ② 都道府県自殺対策計画・市町村自殺対策計画の策定及び地域自殺対策推進センターの設置への精神保健福祉センターの関わりについて
- ③ 薬物依存症の家族教室の実施の有無及び実施形態について
- ④ DPAT の整備状況及び医療機関や関係団体との連携等について
- ⑤ 記入もれや障害の状態が十分に読み取れない精神障害者保健福祉手帳用診断書を作成した医療機関に対しての取組について
- ⑥ 開示請求があった場合における措置鑑定の診断書の取り扱いについて
- ⑦ 精神医療審査会の運営について
- ⑧ 自立支援医療費（精神通院医療）支給認定における医療機関の複数指定、有効期限が切れてからの更新希望の取り扱い、及び受理から進達までに時間を要している場合の取り扱いについて
- ⑨ 自立支援医療、手帳交付事務の体制について

5 その他

(1) 理事会報告 辻本 哲士 氏（滋賀県）

(2) 次回開催市あいさつ 波床 将材 氏（京都市）

【北陸ブロック】

平成28年度 北陸ブロック精神保健福祉センター連絡協議会

平成29年2月6日（月） 13:30～16:30

石川県こころの健康センター

《 提出議題一覧 》

◆ 協議事項 なし

◆ 情報交換事項

＜情報交換事項＞

	情報交換事項	県市
1	精神医療審査会委員の選任について	富山県
2	精神医療審査会の運営について	福井県
3	処遇改善請求に対する対応について	福井県
4	アルコール相談における対応について	石川県

(1) 退院請求者が入院している病院に勤務している精神医療審査会委員を意見聴取の委員として選任することの可否について

【理由】精神医療審査会マニュアルでは、当該審査に係る入院中の者が入院している精神科病院に勤務する委員については、当該審査の議事に加わることができないことが明記されているが、退院請求の意見聴取委員については、このような規定がない。

◆ 3県とも同様に、意見聴取の委員として選任をしていない。

(2) 精神医療審査会の運営について

【理由】いくつかの自治体にて精神医療審査会の定数不足事案について明らかになったが、合議体開催や退院請求等の意見聴取において委員確保に苦慮することあり、他県の運営状況を教えていただきたい。

◆ 3県共に退院請求等の意見聴取時の委員確保には苦慮をしている。

合議体は2～3で実施。予備委員有りは2県、なしは1県

退院請求の受理から審査結果通知までの期間

①33.4日 ②40日は超えていない ③40日を超えている

(3) 処遇改善請求に対する対応について

【理由】本県では退院請求はあるが処遇改善請求の実績がなく、他県の請求状況及び対応、留意点などを教えていただきたい。

◆ 各県の請求実績の報告と退院請求等の流れの確認を行う。

(提案県で処遇改善請求の実績がないことについて、他の2県からは不思議との意見が出るが、理由は判明せず。)

(4) 飲酒状態でのアルコール相談への来所と対応方法、及び相談対応マニュアルの有無の確認

【理由】アルコール相談において、断酒状態での来所を絶対条件とはしておらず、車での単独来所の場合、アルコール臭等で飲酒が疑われる場合があり、そのような場合の対応方法とマニュアル作成の確認。

◆ 他の2県とも、断酒状態での来所を絶対条件とはしていない。また、対応マニュアルは作成されていない。なお、近年における飲酒状態での来所相談実績はない。

【中国・四国ブロック】

平成 28 年度 中国・四国精神保健福祉センター所長及び主管課担当者合同会議

- 1 日 時 : 平成 28 年 9 月 1 日(木) ～平成 28 年 9 月 2 日(金)
- 2 場 所 : ホテル千秋閣 (徳島県徳島市)
- 3 参加者 : 鳥取県, 島根県, 岡山県, 岡山市, 広島県, 広島市, 山口県, 香川県, 愛媛県, 高知県, 徳島県の各センター長, 職員, 及び各県・政令市担当課職員 52 名

4 内 容

< 1 日目 > 平成 28 年 9 月 1 日(木) 14 時 00 分～17 時 40 分

- 開催挨拶 徳島県保健福祉部 副部長 大西英治
徳島県精神保健福祉センター 所長 石元康仁

- 講 演 「コミュニティ強化によるひきこもり支援～CRAFTを活用して」
講師 徳島大学大学院 総合科学研究部 准教授 境 泉洋氏

■全体会議 I

- 議題① 「ひきこもり当事者向けの集団プログラムについて」(徳島県提出)
議題② 「ひきこもり相談の転帰をどのようにまとめ活用しているか」(高知県提出)
議題③ 「ひきこもり地域支援センターのサポーター事業及びアウトリーチについて」(島根県提出)

< 2 日目 > 平成 28 年 9 月 2 日(金) 9 時 30 分～11 時 30 分

■全体会議 II

- 議題① 「自立支援医療(精神通院医療)支給認定について」(徳島県提出)
議題② 「マイナンバーの記載・取得について」(徳島県提出)
議題③ 「自立支援医療(精神通院医療)の認定事務にかかる番号制度の導入について」(岡山県提出)
議題④ 「自立支援医療(精神通院医療)に関する事務処理特例条例について」(徳島県提出)

■分科会 I (精神保健福祉センター所長会議)

- 議題① 「家族・当事者のグループ活動の人数調整について」(香川県提出)
議題② 「保健所, 市町及び関係機関等への技術指導及び技術援助の状況について」(香川県提出)
議題③ 「薬物依存のある刑務所出所者等の支援について」(香川県提出)
議題④ 「センターにおける自死遺族支援について」(愛媛県提出)
議題⑤ 「高齢者の自殺予防対策について」(岡山県提出)
議題⑥ 「精神医療審査会の審査結果に基づく精神科病院への照会について」(広島県提出)
議題⑦ 「相談記録, 業務記録の取り扱いについて(BCPの観点から)」(鳥取県提出)

■分科会 II (主管課担当者会議)

- 議題① 「DPATの協定締結状況, DPAT設置運営要綱の策定状況及びDPATに対する研修の状況」(広島県提出)
議題② 「自殺対策計画について」(愛媛県提出)
議題③ 「精神障害者ピアサポーターの活用事業の委託について」(香川県提出)
議題④ 「通報対応業務の中核市への権限移譲について」(香川県提出)

【九州ブロック】

平成28年度 九州ブロック精神保健福祉センター所長会及び研究協議会

開催日：平成29年1月26日（木）～27日（金）
 会場：健康づくりサポートセンター（あいれふ）10階講堂ほか
 開催県・市：福岡市

<1日目>

日時：平成29年1月26日（木） 13：30～17：00

研究協議会（当日協議事項5題 情報交換事項19題）

終了後 ◇所長会議 ◇担当者による情報交換（並行開催）

<2日目>

日時：平成29年1月27日（金） 9：00～13：00（予定）

視察研修：医療法人優なぎ会雁の巣病院（福岡市東区雁の巣1丁目26番1号）

提案県・市	協議事項及び情報交換事項
1 福岡県	精神科デイケアの利用促進に向けた対象者への周知等の取り組みについて
2 福岡県	ギャンブル依存に係る相談の対応及び事業について
3 福岡県	精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費の診断書記載内容の確認について
4 福岡県	医療保護入院者の入院届及び定期病状報告書並びに措置入院者の定期病状報告書（以下、報告書等という。）の進達方法について
5 佐賀県	アルコール健康障害対策基本法施行によるセンターの役割及び都道府県アルコール健康障害対策推進計画について
6 佐賀県	自治体におけるDPAT活動マニュアルの作成について
7 大分県	マイナンバー情報連携運用開始後（平成29年7月以降）の精神保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院医療）支給事務の運用について
8 宮崎県	自立支援医療・精神保健福祉手帳認定事務手順の変更について
9 鹿児島県	自立支援医療（精神通院）における所得確認業務について
10 沖縄県	医療保護入院者の定期病状報告書について ①定期病状報告書の「退院に向けた取組状況」の記載について ②定期病状報告書に添付している「退院支援委員会審議記録」の記載について
11 沖縄県	①ひきこもり連絡協議会の内容及び協議会結果の反映について ②ひきこもり者について、県独自で実態調査を実施しているか
12 福岡市	障がい者の地域移行推進にあたって、精神保健福祉センターの取り組みについて
13 福岡市	精神医療審査会の各合議体の委員構成比について
14 福岡市	精神医療審査会各合議体の情報共有の工夫について
15 長崎県	精神医療審査会の運営について
16 長崎県	自立支援医療用診断書の認定における、初診日から間もない診断書の取り扱いについて
17 長崎県	精神障害者保健福祉手帳用診断書による等級判定について
18 長崎県	精神医療審査会と実地審査及び実地指導との連携について
19 長崎県	ひきこもり対策推進事業につて
20 長崎県	精神保健福祉士の採用について
21 熊本県	ひきこもり対策支援センターと市町村や各生活困窮者自立支援事業相談窓口との連携について
22 熊本県	マイナンバー制度導入に伴う自立支援医療（精神通院）に係る支給認定事務について
23 北九州市	精神保健福祉センターでのピアサポーターの活用やかかわりの状況について

【大都市部会】

平成 28 年度第 1 回全国精神保健福祉センター長会・大都市部会

開催日：平成 28 年 7 月 14 日（木）

会場：アジュール竹芝（東京都内）

- 1 開会 大阪市こころの健康センター
- 2 挨拶 全国精神保健福祉センター長会 会長
横浜市こころの健康センター長 白川 教人

3 各都市挨拶

4 照会事項（協議事項なし）

	照 会 事 項	都 市 名
1	医療保護入院における成年後見人の同意について	札幌市
2	自立支援医療（精神通院）における在宅療養支援診療所に係る課題について	札幌市
3	自立支援医療（精神通院）における精神科訪問看護の対象範囲について	札幌市
4	精神保健福祉相談（電話相談）における頻回相談者への対応について	札幌市
5	「自殺対策推進センター」の開設状況及びその組織体制等について	仙台市
6	特定相談等（依存症に関する相談）の状況（実施方法・頻度・予算等）について	さいたま市
7	精神医療審査会の定期の報告等による審査における、審査会事務局での点検の範囲について	相模原市
8	「市職員対象の自殺対策に関する研修」について	相模原市
9	所長の業務負担（一般行政管理職業務）の緩和策について	静岡市
10	精神医療審査会「定期の報告等における審査」における審査実施状況について	静岡市
11	センターの患者支援状況管理及び統計の管理システムについて	岡山市
12	精神障害者保健福祉手帳の交付方法について	岡山市
13	医療保護入院者の入院届等の文書料について	北九州市
14	精神医療審査会における「特定医師による医療保護入院者の入院届及び記録」「応急入院届」の取り扱いについて	京都市
15	地域自殺対策推進センターの貴市での設置状況（予定含む）について	京都市

5 その他

- 6 次回開催都市挨拶 堺市こころの健康センター 木内 邦明

【大都市部会】

平成 28 年度第 2 回全国精神保健福祉センター長会・大都市部会

日時:平成 29 年 2 月 23 日 (木) 午後 1 時から午後 4 時 30 分まで

会場:都市センターホテル (東京都内)

出席者: 札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、
浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、熊本市

事務局: 堺市

1 開 会 堺市こころの健康センター 所長 木内 邦明

2 挨拶 全国精神保健福祉センター長会 会長
横浜市こころの健康相談センター長 白川 教人

3 協議事項 なし

4 照会事項

番号	照会事項	提案自治体名
1	退院等の請求における面接による意見聴取について	札幌市
2	「アルコール健康障害者対策推進計画」の策定状況について	仙台市
3	精神医療審査会における個別の医療機関の不適切な対応又は指導を要する事項を把握した場合の対応について	相模原市
4	精神医療審査会から対象医療機関への周知事項の伝達及び意見交換の実施等に係る工夫について	相模原市
5	専門職員（臨床心理技術者、精神保健福祉士、作業療法士）の人材育成について	静岡市
6	「地域自殺予防対策推進センター」の設置状況と予算財源等について	岡山市
7	生活困窮者自立相談支援機関との連携について	堺市
8	任意入院者からの退院請求の取り扱いについて	堺市
9	退院等請求の移管について	堺市

5 その他

6 次回開催都市挨拶 神戸市こころの健康センター 所長 北村 登